

豊玉中だより

教育目標

心身ともに健康で自主的に努力する誠実な人となることをめざす
1 誠実 2 敬愛 3 努力

練馬区立豊玉中学校

校長 栗原 満

平成30年度 第4号

〔平成30年6月8日発行〕

e-mail info@toyotama-j.nerima-ky.ed.jp

感動と達成感、運動会大成功で終わる

スローガン「疾風迅雷」

校長 栗原 満

第72回運動会が、5月26日（土）曇りのち晴れの絶好のコンディションのもと実施できました。早朝より来校された多くの保護者、地域の方々が見守る中で、運動会がスタートし、大きなけがもなく無事大成功に終えることができました。来賓の方々30名、保護者612名、一般55名の計697名の沢山の方々が生徒の練習の成果を見に来ていただきました。生徒たちにとっては、大きな励みになりました。ありがとうございました。

5月の大型連休明けから、本格的に練習が始まりました。「練習から集中して、全力であたる」本校の伝統校風のもと、全校練習、学年練習、朝練習、放課後練習いずれにも全力で競技・演技に全員が一生懸命に取り組んでいました。

4月からいろいろ準備を進め、全体をリードしてくれた3年生と各級の生徒。3年生にとっては、最後の運動会。伝統種目の男子の「組み体操」、女子の「フラッグ・豊中ソーラン・ダンス」を何とか成功させようと上級生として、下級生の指導にしっかり取り組みました。この一年で心身ともに成長し、自分たちで工夫しながら力を出し切ろうとがんばった2年生。中学生生活2ヶ月、少しずつ中学生らしく見えてきて初めて経験する運動会に緊張の様子の1年生。

それぞれの立場や個人差を超えて、生徒全員が前向きにがんばっている姿は何とも素晴らしく、言葉では言い表せません。運動会を終えたあとに生徒たちを見て、達成感と充実感があったことがよく分かりました。以下のような成果がありました。特に、今回4つの競技において新記録ができました。

<運動会での成果>

- 練習から集中して真剣に取り組んだ。
- 3年生がリーダーとして下級生をリードし、運動会の伝統校風を後輩に引き継いだ。
- 個人種目では、ゴールまで最後まで諦めず全力で走り通した。
- 各学年の団体種目で、リーダーの頑張りや声が出てチームがよくまとまっていた。
- 組み体操は、3年生のリードで集中してすべての演技内容が成功し、見ている人に感動を与えた。
- 豊中ソーラン、フラッグは、3年生がリーダー、そして1、2年生が一糸乱れぬリズム感あるまとまりのある演技を行い、また3年生のチアダンスも見ている人に感動を与えた。
- 競技において、4つの新記録ができました。

<運動会を通して学んだこと>

- 練習から一生懸命に取り組む姿勢の大切さ。
- 学年、全校で競技・演技取り組む楽しさ、そして充実感、達成感がある。
- 生徒全員での取り組みにより、協調性と思いやりができる。
- 感動は「心が動くもの」全力で競技・演技に取り組む中で生まれる。

運動会で経験したことをこれからの学校生活に活かして行ってほしいと願っています。



男子組み体操「二・三段タワー」



男子組み体操「肩上ピラミット」



女子豊中ソーラン



女子フラッグ

